

平成25年度 甲賀市財務書類4表〈概要版〉 (連結)

総務部
財政課

新地方公会計制度に基づき、平成25年度の一般会計と全ての特別会計と企業会計及び関連団体を合算した市全体の財務状況がわかる「財務書類4表」の概要をお知らせします。

貸借対照表

資産の部

減価償却により資産価値が約65億円減少

市は道路や橋梁などのインフラ資産や、学校や庁舎、病院などの事業資産、現金や債券などの金融資産といった多くの資産を保有していますが、主に事業用資産の経年劣化による価値の減少(減価償却)が影響し、総資産は前年度比で約65億円減少し、約2,627億円となっています。

負債の部

地方債等の償還で負債総額が約42億円減少

市ではさまざまな施設を整備するために地方債等を発行してきましたが、平成25年度では過去に発行した地方債等の償還を進めるなどして、負債総額は前年度比約42億円減少しました。資産総額から負債総額を差し引いた純資産の額は前年度比から約24億円減少し、約1,662億円となっています。

平成26年3月31日現在

単位：百万円

資産の部 (これまで積み上げてきた資産)				負債の部 (将来の世代が負担する金額)			
勘定科目	24年度末	25年度末	対前年比	勘定科目	24年度末	25年度末	対前年比
金融資産合計	29,184	27,666	▲1,518	流動負債	11,328	9,418	▲1,910
資金	10,824	10,309	▲515	公債(短期)	5,724	6,361	637
債権	4,150	3,642	▲508	短期借入金	0	141	141
(控除)貸倒引当金	▲117	▲134	▲17	その他	5,604	2,916	▲2,688
有価証券	0	0	0	非流動(固定)負債	89,363	87,084	▲2,279
投資等	14,327	13,849	▲478	公債	79,987	78,046	▲1,941
非金融(公共)資産合計	240,100	235,079	▲5,021	借入金	158	111	▲47
事業用資産	110,020	104,613	▲5,407	引当金	8,541	8,509	▲32
インフラ資産	130,080	130,466	386	その他	677	418	▲259
繰延資産	0	0	0	負債の部合計	100,691	96,502	▲4,189
				純資産の部 (現在までの世代が負担した金額)			
				純資産の部合計	168,593	166,243	▲2,350
資産の部合計	269,284	262,745	▲6,539	負債・純資産の部合計	269,284	262,745	▲6,539

市民1人当たりの貸借対照表

市民1人あたりの貸借対照表は、上記の貸借対照表の値を平成26年3月31日現在の甲賀市の人口93,154人で割ったものです。

市民1人あたりの資産は約282万円、負債は約104万円、純資産は約178万円となっています。

資産 約282万円 うち、事業用資産112万円 インフラ資産140万円	負債 約104万円 うち借金(公債)残高91万円
	純資産 約178万円

行政コスト計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

単位：百万円

純行政コストは前年度比約10億円の増加

福祉や教育などの資産形成に繋がらない人的・給付的な行政サービス提供にかかったコスト（人件費、物件費、補助金など移転支出的な費用を合わせた総行政コスト）は、約650億円となり、前年度比約7億円の増加となりました。

一方、行政サービス提供の対価である使用料、手数料などの経常収益は前年度比約4億円減の約138億円となり、純行政コストは前年度比約10億円増の約512億円となりました。

勘定科目	24年度末	25年度末	対前年比
経常費用(行政コスト総額)	64,358	65,028	670
人件費	13,394	13,243	▲151
物件費	13,483	12,731	▲752
経費	5,295	5,988	693
業務関連費用	1,851	1,884	33
移転支出	30,335	31,182	847
経常収益	14,137	13,778	▲359
業務収益	12,797	12,490	▲307
業務関連収益	1,340	1,288	▲52
純行政コスト (経常費用－経常収益)	50,221	51,250	1,029

純資産変動計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

単位：百万円

純資産は前年度比約24億円の目減り

財源変動の部は、財源の使途よりも財源の調達が大きくなり約19億円のプラスとなりました。

また、資産形成充当財源変動の部は、事業用資産、インフラ資産の減耗、償却による資産価値の低下により純資産が約19億円減少しました。

その他の純資産変動も加味した平成25年度末の最終的な純資産は、約24億円減少し約1,662億円となりました。

勘定科目	24年度末	25年度末	対前年比
前期末残高	167,282	168,593	1,311
財源変動の部	▲2,474	1,930	4,404
財源の使途	64,825	58,518	▲6,307
財源の調達	62,351	60,448	▲1,903
資産形成充当財源変動の部	4,292	▲1,866	▲6,158
固定資産の変動	2,503	▲2,383	▲4,886
長期金融資産の変動	1,821	540	▲1,281
評価・換算差額等の変動	▲32	▲23	9
その他の純資産変動の部	▲507	▲2,414	▲1,907
当期変動額合計	1,311	▲2,350	▲3,661
当期末残高	168,593	166,243	▲2,350

資金収支計算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

単位：百万円

基礎的財政収支は約25億円の黒字を確保

経常的収支、資本的収支を合計した基礎的財政収支（プライマリーバランス）は、前年度比約36億円の増加になり、約25億円の黒字になりました。

この基礎的財政収支が黒字でないと、市債残高を減らすことができないため、財政状況をみるうえで重要な指標となります。

地方債等の発行収入と元利償還金支出の収支を表す財務的収支は、地方債等の償還を進めているため、約29億円のマイナスとなりましたが、基礎的財政収支の黒字を差し引くことで、当期資金収支は4億円のマイナスとなりました。

勘定科目	24年度末	25年度末	対前年比
経常的収支区分	9,128	5,891	▲3,237
経常的支出	57,665	61,959	4,294
経常的収入	66,793	67,850	1,057
資本的収支区分	▲10,259	▲3,417	6,842
資本的支出	11,791	3,937	▲7,854
資本的収入	1,532	520	▲1,012
基礎的財政収支	▲1,131	2,474	3,605
財務的収支区分	▲1,054	▲2,910	▲1,856
財務的支出（注）	11,638	8,087	▲3,551
財務的収入	10,584	5,177	▲5,407
当期資金収支	▲2,185	▲436	1,749
期首資金残高	13,009	10,745	▲2,264
期末資金残高	10,824	10,309	▲515

（注）うち、公債・借入金
支払利息支出

1,577 1,539 ▲38